

	令和5年度セグメントシート						(日本学術振興会)		
セグメント名	大学等の強みを生かした教育研究機能の強化				担当部局庁	研究振興局		作成責任者	
事業開始年度	平成15年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	学術研究推進課		学術研究推進課長 田畑 磨		
会計区分	一般会計								
セグメント単位の考え方	第4期中期目標に基づいて区分している								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人日本学術振興会法第15条				関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画 (令和3年3月閣議決定)			
					主要経費	科学技術振興費			
事業の目的 (5行程度以内)	科学技術・イノベーション基本計画など国の学術振興策を踏まえつつ、研究者の活動を安定的・継続的に支援することにより、学術の振興を目的とする我が国唯一の独立した資金配分機関(ファンディングエージェンシー)として、その責務を果たす。								
現状・課題 (5行程度以内)	我が国の研究現場では、論文の質・量ともに相対的・長期的な地位の低下や、若手をはじめとした研究者の環境改善が課題となっている。また、研究活動や国際的な研究交流についても、ポストコロナにおける在り方の変革が求められている。								
事業概要 (5行程度以内)	大学が自らの強みや特色を生かし学部や大学院の教育改革に取り組むことで、我が国の大学教育を牽引することができるよう、国の方針を踏まえた審査・評価等を行う。								
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/content/20230324-mxt_gakjokik-100000119_1.pdf								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	経常 収益	予算 額	当初予算: 運営費交付金(A)	22	27	29	-	-	
			補正予算: 運営費交付金(B)				-	-	
							-		
							-		
							-		
							-		
		執行 額	運営費交付金(C)	20	25	27			
			補助金等(D)	610	603	732			
			その他(E)	19	16	23			
			計(F) = (C) + (D) + (E)	649	644	782			
	運営費交付金収益の割合 = (C) / (F)			3.1%	3.9%	3.5%			
	運営費交付金収益化基準			業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準			
	経常 費用	予算額(G)			802	730	900		
		執行額(H)			630	686	756		
		執行率(I) = (G) / (H)			79%	94%	84%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目			令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		独立行政法人日本学術振興会運営費			備考: 運営費交付金については、令和5年度から第5期中期目標期間となり、セグメントが変更されたため記入していない。			
		(目)	独立行政法人日本学術振興会一般勘定運営費交付金						
			その他						
計(A)			-	-					

活動内容① (アクティビティ)		大学が自らの強みや特色を生かし学部や大学院の教育改革に取り組むことで、我が国の大学教育を牽引することができるよう、国の方針を踏まえた審査・評価等を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		大学教育改革の支援	大学教育改革の支援に係る 国の補助事業における審査・ 評価等実施事業数	活動実績	数	4	2	4	－	－	
				当初見込み	数	4	2	3	4	5	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国の補助事業により大学が自らの強みや特色を生かし学部や大学院の教育改革に取り組んでいくためには、計画的・継続的に事業を実施する必要があることから、研究者を含む外部有識者の知見を活用して実施される主務大臣による業務実績に関する評価の結果を短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度		
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣 による業務実績評価における標準評価 以上の評価	標準評価(B評価)以上の評価 を受けた項目の割合	成果実績	%	100	100	100	－		
				目標値	%	100	100	100	100		
				達成度	%	100	100	100	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度における業務の実績に関する評価									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		日本学術振興会が実施しているのは国の補助事業における審査・評価等であり、短期アウトカムでの評価によって政策効果等を確認することは可能であるが、大学教育改革の支援自体は国の補助事業により実施していることから、日本学術振興会の事業として政策効果等を確認可能な長期アウトカムの成果実績を設定することが困難であるため。									

アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック		
独法所管部局による点検・改善										
点検結果	国の定めた制度・方針等を踏まえ、迅速に事務体制を整えながら、事業ごとに専門家による委員会等を設置したことにより、透明性、信頼性、継続性を確保した公正な審査・評価体制を整備している。							目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度)		
								－		
改善の 方向性	今後の審査・評価業務の着実な実施に向け、審査・評価業務自体の中間的な総括や改善に務めることが期待される。									
備考										
－										

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

